



©2016 S.F.C

## 西日本チャンピオン サンフレッチェ広島 F.C ユースが 東日本チャンピオンと激突!



プライドをかけた  
王者同士の熱き戦い

日本の第2種(U-18、高校生)年代における全国の上位20チームがEASTとWESTに分かれ、一年近いリーグ戦を戦うプレミアリーグ。サンフレッチェ広島F.Cユースは昨年12月4日(日)に行われた神戸弘陵学園高校との試合に4-1で勝利し、見事プレミアリーグWESTでの優勝を決めました。サンフレッチェ広島F.CユースがWESTを制覇するのは今回で3度目です。



決勝戦は両者譲らぬ接戦になりました。サンフレッチェ広島F.Cユースの今シーズンの活躍にも注目です。

12月17日(土)には埼玉スタジアム2002で開催された、東西のプレミアリーグ王者が真の日本一を懸けて競い合う「高円宮杯U-18サッカーリーグ2016チャンピオンシップ」に出場。EAST王者の青森山田高校と激

闘を繰り広げました。互いが死力を尽くした一戦は、延長戦でも決着がつかずPK戦に。惜しくも4-2で敗れましたが、市役所で行われたパブリックビューイングに参加した市民のみなさんからは、惜しめない拍手が送られていました。

「シーズン一番の目標として挑んできたリーグ戦。その決勝の舞台で本来自分たちが持っている力を十分に発揮できず、優勝カップを持って帰れなかったことは本当に残念です」と話すのは、一時はリーグ降格の危機もありながら、チームを決勝に導いた沢田監督。「今年は、全国大会決勝という大舞台に立った経験を生かし、サンフレッチェらしい自分たちのサッカーができるようさらに上を目指し成長していきたいです」。今シーズンさらに成長したユースの活躍に期待が膨らみます。



市役所のロビーで行われたパブリックビューイングには約80名の市民が参加。遠く埼玉で戦う選手たちにエールを送りました



広島市安芸区矢野出身。矢野中学卒業後、サンフレッチェ広島F.Cユースに加入。2000年のトップチーム昇格以降、サンフレッチェ一筋でプレーを続けてきた。昨年10月に2016シーズン限りでの引退を発表。

## サンフレッチェ広島 F.C 森崎浩司元選手 (サンフレッチェ広島アンバサダー) インタビュー

2016シーズン限りで現役引退を表明した森崎さんに、ユース時代の思い出や安芸高田市への想いを語っていただきました。

### 子どもたちへメッセージ

何でもいから自分が「こうなりたい!」という目標や夢を持ってほしいと思います。それだけで人生は楽しく充実したものになるはず。それがスポーツ、特にサッカーだったら嬉しいな。



## 攻

撃的MFとして、サンフレッチェ広島に多大なる貢献をしてきた森崎浩司選手。矢野中学校から吉田高校へ進学し、高校へ通いながらサンフレッチェ広島F.Cユースに所属するサッカー漬けの3年間をここに安芸高田市で過ごしました。「吉田町

は豊かな自然にも恵まれ、サッカーをするには最高の環境。遊ぶ場所がなく、サッカーに集中できたのが良かった(笑)」と振り返ります。「プロの選手と練習する機会もあり、より具体的にプロへの想いを募らせていました」。寮生活では、洗濯や掃除など、料理以外の全てを自

分でやらなければならず、人間的にも成長できたそうです。「プロのサッカー選手になっても毎日、練習場のある吉田町に通っています。いつ訪れても懐かしくて安心できる、この雰囲気が好きです。第2の故郷ですね。今後についてうかがうと、「これからもサンフレッ

チェに携わる仕事をしていきたいです。一人でも多くの人にサンフレッチェを応援してもらえらるよう、自分ができていることを考えています」。サンフレッチェ愛にあふれる森崎さん。これからの活躍にも期待が高まります。